第一講・文学的文章①

◆情景をとらえる

物語では、さまざまなできごとが起こりながら、話が進みます。そのできごとの一つ一つのまとまりを「場面」といいます。また、場面中において、景色や様子に登場人物の心情が表れていることがあります。それを「情景」といいます。

(1) **ときをとらえる。**

「朝」「夏」など、時間や季節を直接に表した表現だけでなく、「ねる」「まっくら」（夜であることがわかる）など、ときがわかることばにも注意してとらえましょう。

(2) **場所をとらえる。**

「ときをとらえる」ときと同じように、場所を直接に表した表現だけでなく、風景や登場人物の会話や行動、様子にも注意してとらえましょう。

(3) **できごとをとらえる。**

状況を説明した文や登場人物の行動などから、どんなできごとについてえがかれた場面であるかをとらえましょう。

(4) **風景がくわしくえがかれているところをとらえる。**

くわしい情景描写がされているところに注目して、場面の様子をとらえましょう。

(5) **登場人物の心情が表れた風景や様子をとらえる。**

風景や様子と登場人物の心情とのつながりをとらえましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「僕(ぼく)、①お金持って遊びに行くのん、初めてや」

ときどき立ち停(ど)まると、喜一(きいち)はそのたびに掌(てのひら)を開いて、＊1晋平(しんぺい)からもらった②硬貨(こうか)の数を確(たし)かめた。信雄(のぶお)は自分の金をそっくり喜一の掌に移(うつ)した。

「僕のんと合わしたら、何でも買えるで」

「そやなあ、あれ買えるかも知れへんなあ」

信雄も喜一も、火薬を詰(つ)めて飛ばすロケットのおもちゃが欲(ほ)しかったのである。恵比須(えびす)神社の縁日(えんにち)でも売っていたから、きっと今夜も売っている筈(はず)であった。

天満宮(てんまんぐう)のような巨大(きょだい)な祭りではなかったが、それでも商店街のはずれから境内(けいだい)への道まで露店(ろてん)がひしめきあっている。人通りも多くなり、スルメを焼く匂(にお)いと、露店の茣蓙(ござ)の上で白い光を発している＊2カーバイドの悪臭(あくしゅう)が、暗くなり始めた道にたちこめて、信雄も喜一もだんだん祭り気分にうかれていった。

（宮本輝(みやもとてる)『泥(どろ)の河(かわ)』）

＊1晋平＝信雄の父親。

＊2カーバイド＝炭化カルシウム。発生するガスで明かりにする。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「お金持って遊びに行く」とありますが、①どこに、②何を買いたくてお金を持って遊びに行くのですか。また、③ふたりはそこに行ってどんな気持ちになったのですか。

①

②

③

問二　この文章の場面の時刻(じこく)はいつごろですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　朝　**イ**　昼　**ウ**　夕方　**エ**　夜

問三　――線②「硬貨の数を確かめた」とありますが、それはなぜですか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

まあ落ちついてききたまえ。前にはなしたあの象を、オツベルはすこしひどくし過ぎた。しかたがだんだんひどくなったから、象がなかなか笑わなくなった。時には赤い竜の眼をして、じっとこんなにオツベルを見おろすようになってきた。

ある晩象は象小屋で、三把の藁をたべながら、十日の月を仰ぎ見て、

「苦しいです。*1サンタマリア。」と云ったということだ。

こいつを聞いたオツベルは、①ことごと象につらくした。

ある晩、象は象小屋で、ふらふら倒れて地べたに座り、藁も食べずに、十一日の月を見て、

「もう、さようなら、サンタマリア。」と斯う云った。

「おや、何だって？　さよならだ？」②月が俄かに象に訊く。

「ええ、さよならです。サンタマリア。」

「何だい、なりばかり大きくて、からっきし意気地のないやつだなあ。仲間へ手紙を書いたらいいや。」月がわらって斯う云った。

「お筆も紙もありませんよう。」象は細ういきれいな声で、しくしくしくしく泣き出した。

「そら、これでしょう。」すぐ眼の前で、可愛い子どもの声がした。象が頭を上げて見ると、赤い着物の童子が立って、硯と紙を捧げていた。象は早速手紙を書いた。

③「ぼくはずいぶん眼にあっている。みんなで出て来て助けてくれ。」

童子はすぐに手紙をもって、林の方へあるいて行った。

赤衣の童子が、そうして山に着いたのは、ちょうどひるめしごろだった。このとき山の象どもは、*2沙羅樹の下のくらがりで、碁などをやっていたのだが、額をあつめてこれを見た。

「ぼくはずいぶん眼にあっている。みんなで出てき

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

て助けてくれ。」
象は一せいに立ちあがり、まっ黒になって吠(ほ)えだした。

（宮沢賢治(みやざわけんじ)『オツベルと象』）

＊１サンタマリア＝聖母(せいぼ)マリア。イエス・キリストの母マリア。
＊２沙羅樹＝インド原産の木の名前。釈迦(しゃか)に関係の深い木。

問一　――線①「ことごと象につらくした」とありますが、①オツベルが「象につらくした」のはなぜですか。また、②その結果、象はどうなりましたか。

①

②

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　――線②「月が俄かに象に訊く」とありますが、①象の言葉を聞いた月はどう思いましたか。また、②月は象に何をしてくれましたか。

①

②

問三　――線③「ぼくはずいぶん眼にあっている。みんなで出て来て助けてくれ」とありますが、これは、①だれが、②だれによって、ずいぶんな眼にあっているのですか。また、③「みんな」とはだれのことですか。それぞれ答えなさい。

①

②

③

問四　この文章の場面を二つに分けるとどこで分かれますか。後半の初めの五字を文中から書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答編

小学5年　国語〔応用〕

第一講　文学的文章①

一題目

問一　① 祭り（別解　露店）
② 火薬を詰めて飛ばすロケットのおもちゃ
③ （例）うかれていた
問二　ウ
問三　喜一はお金を持って遊びに行くのが初めてで、うれしかったから。

二題目

問一　① （例）象が「苦しいです。サンタマリア。」と月にいっていたから。
② （例）わらも食べなくなり、ふらふら倒れて死をかくごするようになった。
問二　① （例）意気地のないやつだとあきれた。
② （例）仲間に手紙を書くための硯と筆、童子を用意してくれた。
問三　① ぼく（象）
② オツベル
③ （例）仲間の象（山の象ども）
問四　赤衣の童子

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。